

## 福井県嶺北地方で採集された 山地性ネズミ類\*

大迫義人<sup>1</sup>・長谷川巖<sup>2</sup>・寺山明孝<sup>3</sup>

### はじめに

福井県に分布する哺乳類について、東谷(1966)、林(1970)、福井県(1978, 1982)、城谷(1985)、池田ほか(1992)などの報告があり、計7目18科41種が記録されている。これらの報告のうち小型哺乳類については、目撃が難しく、かつ同定のための捕獲が必要であるため情報が少ない。しかし、生物地理学的には、大型・小型の関係なく多くの種の生息情報が必要である。

山地性ネズミ類の分布については東谷(1966)が報告しているが、調査方法、観察時期・場所などについての記載がなく文献として不完全であり、かつ情報が古い。そこで、大野市、大野郡和泉村および坂井郡金津町の計3市町村の山地でネズミ類を捕獲・採集したので報告する。

### 調査地と方法

捕獲調査は、福井県大野市(4カ所)、大野郡和泉村(6カ所)、坂井郡金津町(1カ所)の3市町村11カ所で行なった(図1)。大野市南六呂師では1994年6月5~6日と11~12日、同市のその他では1994年5月3~5日と11月3~5日、大野郡和泉村では1994年4月29日~5月2日と11月21~25日、坂井郡金津町では1994年5月3~4日、8月11~12日と10月8~9日に捕獲を試みた。調査地の緯度、経度、標高、環境などの情報については表1にまとめた。ドライソーセージまたは落花生を餌にして、サイズPMPのパンチュウトラップ(日本トラップ研究所製)を1カ所に10個~30個をしかけ、1~2夜かけて捕獲を試みた。捕獲された場合、種、性、個体数および頭胴長、尾長、後足長と体重を記録した。

なお、今泉(1960)は、カゲネズミ *Eothenomys kageus* とスミスネズミ *E. smithii* を乳頭数を基に別種にしているが、ここではカゲネズミをスミスネズミの同種異名とする分類(Aimi 1980, 金子 1985, 阿部 1994)に従う。

---

\* 福井県自然保護センター研究業績 第39号

1. 福井県自然保護センター。〒912-01 福井県大野市南六呂師169-11-2
2. 今庄小学校。〒919-01 福井県南条郡今庄町今庄77-11
3. グリーンアーキ株式会社。〒600 京都市下京区綾小路通室町西入マスギビル

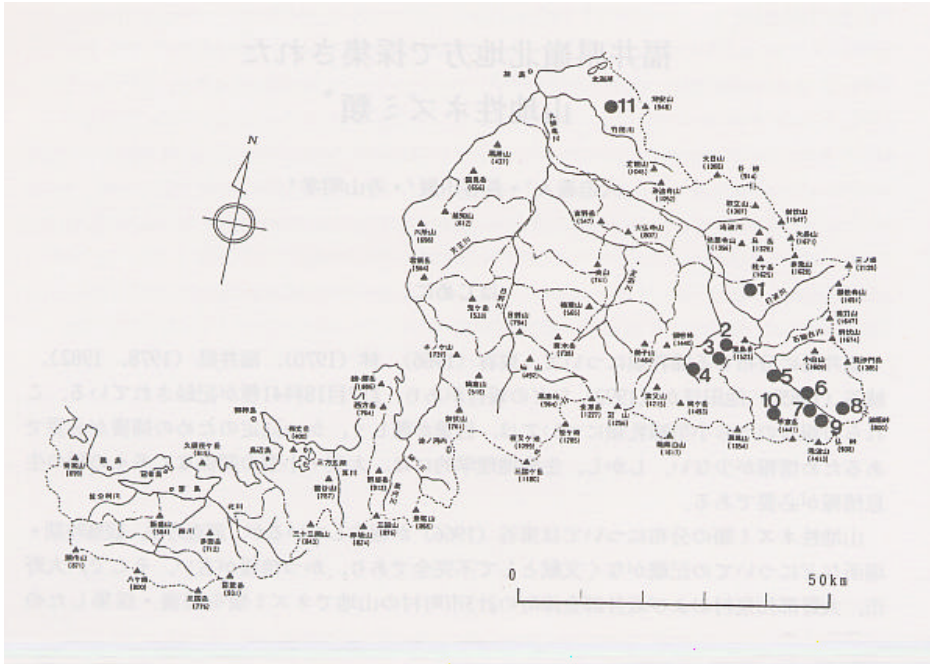


図1. 調査地の位置図（表1を参照）.  
 Fig. 1. Location of the study areas (see Table 1).

### 結果と考察

採集された種とその学名を表1に、および外部計測値を付表1に掲載した。

計1科3属4種111頭のネズミ類が捕獲された（表1）。今回、採集された標本番号H-94-6, H-94-37, H-94-102, H-94-103は、乳頭式が0+0+2=4であったことより、今泉（1960）によるとカゲネズミとなるが、乳頭式は分類の指標にならないためスミスネズミとした（Aimi1980, 金子 1985）。スミスネズミは、石川県、岐阜県の山地でも採集され、かつ福井県での記録もあるものの（大串ほか 1978, 岐阜県哺乳動物調査研究会 1984, 金子 1992, 金子ほか 1992）、まだ情報の少ない種である。

捕獲されたネズミ類のうち、最も個体数の多かった種はアカネズミで69.4%を占めた。次いで、ヒメネズミ（26.1%）、スミスネズミ（3.6%）、ハツカネズミ（0.9%）であった。アカネズミは、平野・低地から高山帯まで広く分布している種で（阿部 1994）、今回の調査でも標高40～686mで捕獲された。ヒメネズミも低地から高山帯の、主に森林部に生息しており（阿部 1994）、今回の調査でも標高360～606mで捕獲された。スミスネズミは大きな山塊につながった低地から高山帯の、主に森林部に生息しているが（阿部 1994）、今

表1. 福井県嶺北地方の山地性ネズミ類の捕獲地, 植生, 捕獲年月日と捕獲個体数.  
Table 1. Locality, vegetation, date and number of collected montane rodents (Muridae spp.) in the Reihoku District, Fukui.

捕獲地 Locality <sup>1)</sup> 福井県	メッシュ番号 Mesh Number <sup>2)</sup>	緯度・経度 Latitude・Longitude	標高 Elevation	植生 Vegetation	捕獲日 Date 1994年	スミスネズミ <i>Eothenomys smithii</i> (Specimen number <sup>3)</sup> )	ヒメネズミ <i>Apodemus argenteus</i> (Specimen number <sup>3)</sup> )	アカネズミ <i>Apodemus speciosus</i> (Specimen number <sup>3)</sup> )	ハツカネズミ <i>Mus musculus</i> (Specimen number <sup>3)</sup> )
大野市									
1.南六呂師	160	35°01'N・135°35'E	590m	雑木林	6月5日 6月11日		2(V-94-106,109) 2(V-94-111,112)	2(V-94-107,108) 2(V-94-110,113)	
2.持養谷	214	35°54'30"N・135°32'30"E	360m	草地	5月3日 5月4日 5月4日		1(H-94-2) 1(H-94-4) 1(H-94-4)	1(H-94-1) 1(H-94-3)	
3.仙谷	215	35°53'30"N・135°33'E	421m	針葉樹林	5月4日 5月4日 11月3日 11月4日	1(H-94-6)	2(H-94-14,15) 1(H-94-5) 3(H-94-16-H-94-18) 1(H-94-23)	2(H-94-12,13) 1(H-94-7)	
4.中島	239	35°52'N・135°31'E	400m	草地	5月4日 11月3日 11月4日		1(H-94-25)	2(H-94-19,20) 3(H-94-21,22,24) 1(H-94-26)	1(H-94-10)
大野郡原町									
5.藤原谷	84	35°53'N・135°41'E	699m	広葉樹林	4月30日			3(H-94-29-H-94-31)	
6.此木谷	67	35°52'30"N・135°43'E	580m	広葉樹林	4月28日		2(H-94-32,33)		
7.箱が嶺	32	35°53'N・135°45'30"E	606m	針葉樹林	4月30日 4月28日 4月30日 11月23日 11月24日	1(H-94-37)	3(H-94-35,36,38) 1(H-94-41) 1(H-94-43) 2(H-94-67,68)	3(H-94-34,39,40) 1(H-94-42) 2(H-94-44,45) 2(H-94-69,70)	
8.上半原	17	35°52'30"N・135°47'E	560m	針広混交林	4月30日			2(H-94-46,47)	
9.荷暮	34	35°51'N・135°46'E	570m	草地	5月1日 4月30日 5月1日 11月21日 11月22日		3(H-94-48-H-94-50)	4(H-94-51-H-94-54) 1(H-94-55)	
10.伊勢谷	86	35°51'N・135°41'E	571m	草地	4月30日 5月1日 11月23日		1(H-94-73)	3(H-94-56-H-94-58) 2(H-94-72,74) 3(H-94-75-H-94-77)	
10.伊勢谷					4月30日 5月1日 11月23日		1(H-94-60) 1(H-94-64)	3(H-94-59,61,62) 3(H-94-63,65,66) 1(H-94-78)	
坂井郡金津町									
11.笹岡	504	36°12'30"N・136°16'E	40-80m	スギ雑木林	5月3日 8月11日 10月8日	2(H-94-102,103)		10(H-94-79-H-94-88) 8(H-94-89-H-94-96) 5(H-94-97-H-94-101)	
計11カ所					計30日	計4頭	計2頭	計7頭	計1頭

1: 図1を参照.  
2: 福井県自然環境管理計画で用いるメッシュ番号.  
3: V(福井県自然保護センター保管標本), H(北陸公衆衛生研究所保管標本).

回の調査では標高40~80mのスギ植林地でも捕獲された。ハツカネズミは、平野から山地に広く分布している種で(阿部 1994), 今回の調査では標高400mの草地で捕獲された。

福井県の山地では、これら4種の他にハタネズミ *Microtus montebelli*の分布が確認されている(井上・三浦 1993)。また、隣の石川県や岐阜県の山地では、さらにヤチネズミ *Eothenomys andersoni*, ドブネズミ *Rattus norvegicus*も確認されており(石川県 1977, 金子ほか 1992), 福井県での分布の可能性もある。クマネズミ *R. rattus*も含めてさらに広範囲で調査を行なうべきであろう。

### 謝 辞

香川大学教育学部の金子之史先生には、種不明のネズミ類の同定を行なっていただき、ピロドネズミ属の分類について教示していただいた。また、分布の情報や文献について福井野生動物の会の牧田活宜氏, 福井自然史博物館の長田勝氏, 石川県白山自然保護センターの林哲氏に教示していただいた。福井坂井地区広域市町村圏事務組合と建設省には調査結果の一部の公表を快諾して頂いた。記して感謝する。

### 要 約

1994年に福井県大野市, 大野郡和泉村, 坂井郡金津町の計3市町村の計11カ所の山地で, ドライソーセージまたは落花生を餌としたパンチュウトラップによるネズミ類の捕獲調査を行なった。スミスネズミ *Eothenomys smithii*, ヒメネズミ *Apodemus argenteus*, アカネズミ *A. speciosus*, ハツカネズミ *Mus musculus*の計1科3属4種111頭のネズミ類

が捕獲された。それらのうちスミスネズミは、分布情報の少なかった種で標高40～80mでも捕獲された。福井県の山地では、その他、数種のネズミ類の生息・分布の可能性があり、広範囲で捕獲調査を行なう必要がある。

#### 引用文献

- 阿部永(監). 1994. 日本の哺乳類. 195pp. 東海大学出版会, 東京.
- Aimi, M. 1980. A revised classification of the Japanese red-backed voles. Mem. Fac. Science, Kyoto Univ., Ser. Biol., 8:35-84.
- 福井県. 1978. 第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書(哺乳類). 45pp. 福井県.
- 福井県. 1982. 福井県の鳥獣. 240pp. 福井県.
- 岐阜県哺乳動物調査研究会. 1984. 岐阜県における哺乳類の生息状況とその環境調査及び環境教育にかかわる研究. 岐阜県哺乳動物調査研究会. 284pp.
- 林武雄. 1970. 福井県狩猟鳥獣の現状. 福井県博物同好会会報 17:11-20.
- 東谷薫. 1966. 福井県に見る哺乳類と鳥類. 福井県博物同好会会報 13:17-20.
- 池田善英・須藤一成・林哲. 1992. 福井県におけるハクビシンの生息状況. Ciconia 1: 53-56.
- 今泉吉典. 1960. 原色日本哺乳類図鑑. 196pp. 保育社, 東京.
- 井上重紀・三浦由洋. 1993. 敦賀市の幼齢造林地における野ネズミ被害. 森林防疫 42(7):11-13.
- 石川県. 1977. 石川県の自然環境 第3分冊鳥獣 198pp.
- 金子之史. 1985. スミスネズミとカゲネズミ間における標徴形質(乳頭と陰茎骨). 哺乳学誌 10(4):221-229.
- 金子之史. 1992. 日本の哺乳類17 スミスネズミ. 哺乳類科学 32(1):39-54.
- 金子之史・中島恬・木村吉幸. 1992. 両白山地のピロードネズミ属の同定と分布. 岐阜県博物館調査研究報告 (13):23-34.
- 大串龍一・中橋典子・中村浩二. 1978. 犀川上流倉谷地区において採集された小哺乳類(石川県の小哺乳類相の研究). 石川県白山自然保護センター研究報告 4:79-82.
- 城谷義則. 1985. 福井県の翼手目(コウモリ類). 福井市立郷土自然科学博物館研究報告 31:85-93.

Some species of Muridae collected in the the Reihoku District, Fukui

Yoshito Ohsako<sup>1</sup>, Iwao Hasegawa<sup>2</sup> and Akitaka Terayama<sup>3</sup>

A total of 111 montane mice and voles was collected by trap capture method to clarify the mammalian fauna of Fukui, in Ono City, Izumi Village, Ono County, and Kanazu Town, Sakai County in 1994. A total of four species of three genera of one family was recorded: Smith's Red-backed Voles *Eothenomys smithii*, Small

Japanese Field Mice *Apodemus argenteus*, Large Japanese Field Mice *A. speciosus* and House Mice *Mus musculus*. The majority of trapped rodents was of Large Japanese Field Mice. There have been available few reports on distribution of small mammals, so large-scale surveys are needed in Fukui.

1. Fukui Nature Conservation Center. Minamirokuroshi 169-11-2, Ono-shi, Fukui 912-01
2. Imajo Elementary School. Imajo 77-11, Imajo-cho, Nanjo-gun, Fukui 919-01
3. Green Archi Company, Ltd. Masugi Building, Ayanokojidori-Muromachi-Nisi-iru, Kyoto 610

付表1. 山地性ネズミ類4種の頭胴長, 尾長, 尾率, 後足長と体重の計測値.

Appendix 1. Measurements of four species of montane rodents (Muridae) collected in the Reihoku District, Fukui.

a) スミスネズミ *Eothenomys smithii*

標本番号 Specimen number <sup>1</sup>	性 Sex	頭胴長 (mm) H&B L	尾長 (mm) T L	尾率 (%) T/H&B	後足長 (mm) H F L	耳長 (mm) E L	体重 (g) B W
H-94-6		100.0	45.0	45.0	17.0	17.0	31.0
H-94-37		95.5	44.8	46.9	16.5	10.0	28.0
H-94-102		95	45	47.4			24.0
H-94-103		95	45	47.4			18.8

b) ヒメネズミ *Apodemus argenteus*

標本番号 Specimen number <sup>1</sup>	性 Sex	頭胴長 (mm) H&B L	尾長 (mm) T L	尾率 (%) T/H&B	後足長 (mm) H F L	耳長 (mm) E L	体重 (g) B W
H-94-2		79.0	85.0	107.6	20.0	13.0	14.0
H-94-4	U	79.0	85.0	107.6	19.0	14.0	13.6
H-94-5		80.0	85.0	106.3	18.0	15.0	14.4
H-94-14		76.0	84.0	110.5	18.0	13.5	13.4
H-94-15		80.0	90.5	113.1	19.0	14.5	15.0
H-94-16		80.0	90.5	113.1	18.5	13.0	16.0
H-94-17		77.0	92.0	119.5	20.0	13.5	15.2
H-94-18		76.0	80.0	105.3	18.0	13.5	18.0
H-94-23		73.0	94.0	128.8	20.0	14.0	15.8
H-94-25		83.0	101.0	121.7	20.0	14.0	16.2
H-94-32		79.0	85.0	107.6	17.0	12.5	19.0
H-94-33		82.0	82.5	100.6	18.0	15.0	20.0
H-94-35		65.0	76.0	116.9	9.0	14.0	9.0
H-94-36		60.0	74.0	123.3	13.0	14.0	7.0
H-94-38		58.5	72.5	123.9	17.5	13.5	10.0
H-94-41		81.0	84.0	103.7	18.5	14.0	14.0
H-94-43		66.0	74.0	112.1	19.0	14.0	15.0
H-94-48		75.0	85.0	113.3	18.0	13.0	14.0
H-94-49		63.0	70.0	111.1	18.0	12.0	8.0
H-94-50		75.0	85.0	113.3	19.0	14.0	18.0
H-94-60		73.0	83.0	113.7	18.5	13.0	18.0
H-94-64		76.0	83.0	109.2	20.0	15.0	15.0
H-94-67		79.0	87.5	110.8	21.0	14.0	18.0
H-94-68		77.0	87.0	113.0	19.0	14.0	16.8
H-94-73		78.0	88.5	113.5	18.5	13.0	15.4
V-94-106	?	83.7	85.8	102.5	17.1		15.7
V-94-109		76.8	79.3	103.3	17.2		14.8
V-94-111		85.0	98.9	116.4	18.7		16.5
V-94-112		75.2	98.2	130.6	18.3		17.4

c)アカネズミ *Apodemus speciosus*

標本番号 Specimen number <sup>1</sup>	性 Sex	頭胴長(mm) H&B L	尾長(mm) T L	尾率(%) T/H&B	後足長(mm) H F L	耳長(mm) E L	体重(g) B W
H-94-1		75.5	79.0	104.6	18.5	13.0	13.0
H-94-3		106.0	103.0	97.2	24.0	19.0	44.6
H-94-7		105.0	77.0	73.3	23.0	18.0	55.0
H-94-8		105.0	98.0	93.3	23.0	19.0	42.6
H-94-9		125.0	125.0	100.0	25.0	18.0	52.0
H-94-11		80.0	67.0	83.8	21.0	15.0	14.2
H-94-12		98.0	96.0	98.0	24.5	17.5	34.2
H-94-13		110.0	112.0	101.8	20.5	16.5	41.0
H-94-19		101.0	81.5	80.6	23.0	15.5	32.4
H-94-20		119.0	109.5	91.2	23.0	16.5	49.2
H-94-21		105.0	95.0	90.5	23.0	17.0	40.6
H-94-22		107.0	92.0	86.0	23.0	17.0	31.6
H-94-24		106.0	96.0	90.6	25.0	19.0	40.2
H-94-26		105.0	—	—	23.0	15.5	34.4
H-94-27		104.0	97.0	93.3	23.0	16.0	36.4
H-94-28		114.0	109.0	95.6	24.0	17.0	41.2
H-94-29		107.0	97.0	90.7	25.0	15.0	50.0
H-94-30		101.0	91.0	90.1	22.0	16.0	44.0
H-94-31		117.0	106.0	90.6	23.0	18.0	53.0
H-94-34		95.0	83.0	87.4	23.0	13.0	35.0
H-94-39		80.9	82.0	101.4	19.0	12.0	17.0
H-94-40		99.5	95.8	96.3	22.5	12.0	37.0
H-94-42		111.3	98.5	88.5	23.5	16.0	45.5
H-94-44		104.0	81.0	77.9	24.0	17.0	37.0
H-94-45		121.0	111.5	92.1	25.0	18.5	51.0
H-94-46		86.0	85.0	98.8	18.0	13.0	16.0
H-94-47		84.0	80.0	95.2	18.0	14.0	20.0
H-94-51		103.0	105.0	101.9	23.0	17.0	45.0
H-94-52		92.5	89.0	96.2	24.3	14.7	35.0
H-94-53		92.0	91.5	99.5	24.8	13.8	34.0
H-94-54		113.0	105.5	93.4	22.3	13.3	48.0
H-94-55		100.0	71.0	71.0	24.0	17.0	40.0
H-94-56		84.0	65.0	77.4	21.0	12.0	21.0
H-94-57		—	—	—	—	18.0	—
H-94-58		115.0	82.0	71.3	23.0	17.0	49.0
H-94-59		97.5	97.5	100.0	24.3	14.5	39.0
H-94-61		110.0	92.0	83.6	23.0	18.0	53.0
H-94-62		110.0	108.0	98.2	24.0	18.0	57.0
H-94-63		85.0	83.0	97.6	21.0	15.0	16.0
H-94-65		97.0	83.0	85.6	23.0	19.0	27.0
H-94-66		110.0	92.0	83.6	24.0	19.0	43.0
H-94-69		119.0	97.5	81.9	24.0	17.0	45.2
H-94-70		113.5	93.0	81.9	22.5	16.5	38.0
H-94-71		108.0	65.5	60.6	25.0	16.0	40.6
H-94-72		103.0	84.5	82.0	24.0	14.0	29.8
H-94-74		103.0	97.5	94.9	24.5	15.5	38.8
H-94-75		86.0	72.0	83.7	21.0	14.5	21.4
H-94-78		95.5	—	—	23.0	13.0	31.0
H-94-79		82.5	89.0	96.2	25.0	15.0	32.4
H-94-79		89.0	—	—	23.0	17.0	37.0
H-94-79		80	80	100.0	—	—	13.4
H-94-80		85	75	88.2	—	—	23.4
H-94-81		75	83	110.7	—	—	14.6
H-94-82		100	90	90.0	—	—	32.8
H-94-83		85	—	—	—	—	16.2
H-94-84		78	77	98.7	—	—	14.6
H-94-85		80	90	112.5	—	—	15.8
H-94-86		103	—	—	—	—	25.0
H-94-87		70	85	121.4	—	—	14.0
H-94-88		95	—	—	—	—	19.8
H-94-89		125	105	84.0	—	—	45.0
H-94-90		110	90	81.8	—	—	36.2
H-94-91		110	83	75.5	—	—	28.6
H-94-92		110	90	81.8	—	—	32.8
H-94-93		110	90	81.8	—	—	33.2
H-94-94		80	90	112.5	—	—	13.6
H-94-95		90	90	100.0	—	—	36.6
H-94-96		90	90	100.0	—	—	22.8
H-94-97		110	100	90.9	—	—	42.2
H-94-98		118	—	—	—	—	49.0
H-94-99		110	100	90.9	—	—	40.6
H-94-100		120	100	83.3	—	—	42.2
H-94-101		110	100	90.9	—	—	35.0
V-94-107		112.0	100.4	89.6	23.1	—	42.3
V-94-108		89.5	73.1	81.7	21.4	—	21.8
V-94-110		84.0	77.3	92.0	21.3	—	17.7
V-94-113		78.7	75.7	96.2	20.9	—	22.9

d)ハツカネズミ *Mus musculus*

標本番号 Specimen number <sup>1</sup>	性 Sex	頭胴長(mm) H&B L	尾長(mm) T L	尾率(%) T/H&B	後足長(mm) H F L	耳長(mm) E L	体重(g) B W
H-94-10		79.0	90.0	113.9	20.0	15.0	16.6

1: V (福井県自然保護センター保管標本), H (北陸公衆衛生研究所保管標本)